

浜松市地方創生政策アイデアコンテスト2021

児童と高齢者の世代を超えた交流施設

Hama-co

の提案

(テーマ:少子化対策・高齢化対策)

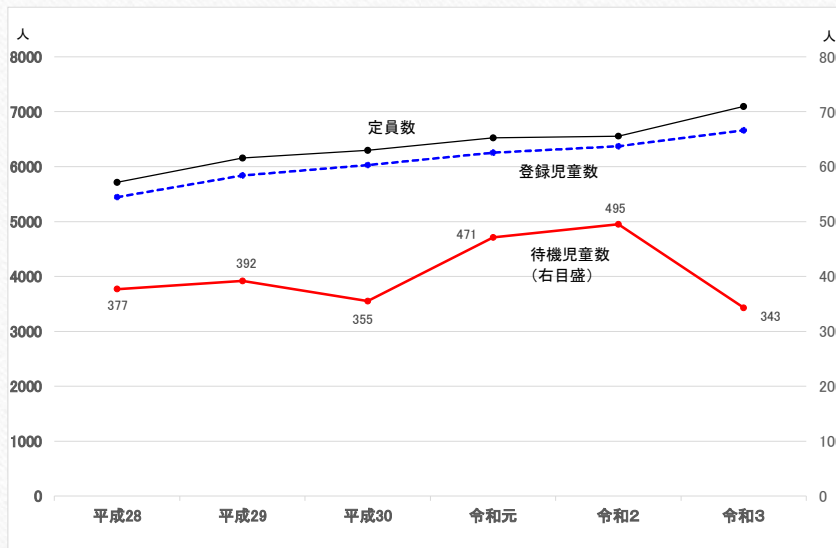


suaco

静岡文化芸術大学 柿本美晴・本田詩歩・望月愛理

浜松市の現状1：放課後待機児童

浜松市の放課後児童会と待機児童数の推移



注：毎年5月1日時点の数値。

資料：浜松市HPと浜松市子育て情報サイトぴっぴHPの情報を元に作成

- 放課後児童会とは

保護者の就労等の理由で、放課後子どもへの対応ができない家庭の児童を預かる事業

- 放課後児童会の待機児童数が高止まり傾向（300人超）（左図）

- 浜松市の対策の状況

浜松市はこれまで放課後児童会の施設数を順次増やし、令和4年には定員が7,470人まで拡大される予定

- 一方、子どもの数は減少しているため、近い将来、施設が余り始める可能性が高い

→ 将来施設が過剰になることを視野に入れながら
放課後待機児童の解消に取り組むことが望ましい

浜松市の現状2: 高齢化と施設入所高齢者

- 現在の高齢化率は30%近くで、20年後には35%を超える見通し
- 介護が必要な高齢者も増加
- 介護が必要な高齢者は特別養護老人ホームや民間の老人ホームに入所している人も多い
- 高齢化の進行により、高齢者向け施設の需要は今後も増大
- 入所高齢者は手厚い介護を受けているが、生きがいや充実感を得られれば、生き生きとして健康な状態を長く保つことができる



解決を めざす 課題

- ・ 将来の施設の余剰化を見据えながら放課後待機児童を解消する
- ・ 今後も求められる高齢者施設における入所高齢者の生活の質（QOL）を向上させる

提案 内容

- ・ 提案１：放課後児童会と高齢者施設の複合化
 - ・ 将来の児童会施設の余剰化と高齢者施設の不足を見越して、
 - ・ 両者の複合化を推進する
- ・ 提案２：児童と高齢者の交流プログラム
 - ・ 複合化された施設を利用して児童と高齢者の交流プログラムを実施する

提案1：児童会と高齢者施設の複合化

将来の児童会施設の余剰化と高齢者施設の不足を見越して、両者の複合化を推進する

◆浜松市が複合施設を設置

- 1. 放課後児童会 + A. 特別養護老人ホーム
- 1. 放課後児童会 + B. 介護老人保健施設

◆民間による複合施設の設置の支援（補助金、運営費助成）

- 2. 民間放課後児童クラブ
 - 3. 類似放課後児童クラブ
 - 4. その他の民間学童保育
- } + C. 民間老人ホーム（各種）

(参考)学童保育と老人ホームの種類

種 類	概 要
1.放課後児童会	小学生対象 空き教室・協働センターを利用 現在167か所
2.民間放課後児童クラブ	国の基準に従い、市の条例で定めた設備・運営基準を満たす施設(補助金交付) 現在該当施設なし
3.類似放課後児童クラブ	市の独自基準を満たす施設(運営費の一部を助成) 現在8施設
4.その他の民間学童保育	放課後の子どもを預かる民営の施設 現在4施設

種 類	概 要
A.特別養護老人ホーム(公的施設)	要介護3～5の人が対象 長期の入所も可能
B.介護老人保健施設(公的施設)	要介護1～5の人が対象 リハビリにより家庭への復帰をめざす(3～6か月の入所が基本)
C.民間老人ホーム	自立～要介護5(施設によって対象が異なる) 多様な形態

提案2: 児童と高齢者の交流プログラム 「LINCO」

複合化された施設を利用して児童と高齢者の交流プログラムを実施する

交流プログラムとは

- 複合施設で児童と高齢者が活動するためのもの
- 共に同じ活動に参加して児童と高齢者が交流
- 内容に浜松独自の伝統文化等の地域性を生かす
- 施設担当者がプログラムを運営
(必要に応じて講師等を招く)

交流プログラムのメリット

児童にとって：

- 学校では学べない教育上の効果
- 高齢者を思いやる気持ち、感謝・尊敬の気持ち
- 地域の伝統や文化の理解と地元愛の醸成

高齢者にとって：

- 心身の健康の維持増進
- 生きがいづくり
(自身の知識・経験を生かすことによる充実感)



交流プログラムの内容

- 楽器を利用した遊び

地元企業から楽器を提供（貸与）して頂き、児童と高齢者が浜松市に縁の曲の演奏を練習

（浜松市の伝統の曲、浜松市歌、浜松出身のアーティストの曲、浜松出身の作曲家に依頼して作ってもらった曲、etc.）

発表会で曲の演奏や歌を披露することをめざす

- 浜松祭りの凧づくり体験

高齢者と子供が数人一組となって一つの凧を作る

浜松祭りに携わっていた高齢者がいれば、凧づくり指導をしてもらう

完成後、浜松祭りで高齢者と子供と一緒に凧揚げに参加することをめざす

（祭りの参加には、町内会や凧揚げ会などの協力を得る）

- 浜松祭りのお囃子

施設の中で鐘や太鼓の練習を行い、浜松まつりに参加

毎日の練習で、楽器の演奏や礼儀などの指導を受け、伝統の継承をめざす



この提案がめざす浜松の将来像

子ども・若い世代

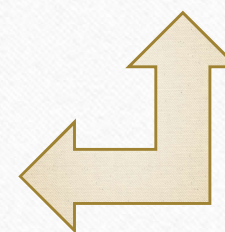
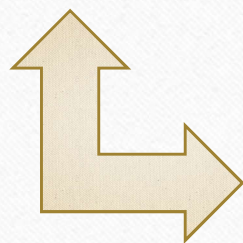
- ・ 他人への思いやりが醸成される
- ・ 若い世代が地域への愛着を抱くようになる
- ・ 定住する人が増える
- ・ 外に出ても地元と関係を保つ人が増える

高齢者

- ・ 生きがいを持つ高齢者が増える
- ・ 健康寿命が延びる

世代間・地域全体

- ・ 若い世代と高齢者の間の交流が盛んになる
- ・ 地域の支え合いが強化される
- ・ 防災力の強化やコミュニティの再生につながる



予算について

具体的な予算の積算は困難であるため、提案の内容別に市が負担する費用の項目を示します

(1) 浜松市が複合施設を設置する場合

- ・ 高齢者施設や放課後児童会の施設を設置・運営する費用
- ・ 本提案内容を実施するために必要な費用
 - 交流プログラムの実施スタッフ・講師
 - 交流プログラムの実施にかかる経費
 - (楽器レンタル料、器具・消耗品の購入費用など)

(2) 民間による複合施設の設置・運営を支援する場合

- ・ 施設の複合化に要する費用に対する補助金
- ・ 施設や交流プログラムの運営費用に対する助成金

(3) 人材確保のための予算

- ・ 単位制でボランティア
- ・ 大学通してアルバイトの求人を出す→アルバイト代

